

備前市事務事業評価表

事務事業名	地域振興活性化事業		コード	04-02-02-02
			担当課・係	商工観光課 商工労政係
			担当者	山台 智子
事業実施期間	S46~		電話	0869-64-1832
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり		
	小項目(施策)	商業(魅力的な商店街の創出)		

事業について	
目的 (何のために)	地域活性化につながる事業を実施、支援することにより、市民融和及び観客の動員を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市民、商業者、商工団体、及び観光客
内容	花火大会等地域活性化につながるイベントの実施、及び実施団体への補助を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
補助件数	9 件	9 件	
イベント集客数	150,000 人	169,000 人	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	17,953	国庫補助金等		直接事業費	13,786	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	8,991	受益者負担		人件費	8,079	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	26,944	一般財源等	26,944	合計	21,865	一般財源等	21,865	合計	0	一般財源等	0

結果指標	結果指標名	補助件数	
	結果指標量	9	9
	単位	件	件
	対前年比	-	100.00%
	活動にかかるコスト	26,944,000 円	21,865,000 円
	単位当たりコスト	2,993,778 円	2,429,444 円
結果指標	結果指標名	イベント集客数	
	結果指標量	150,000	169,000
	単位	人	人
	対前年比	-	112.67%
	活動にかかるコスト	26,944,000 円	21,865,000 円
	単位当たりコスト	180 円	129 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	花火大会等イベントの実施や実施団体への支援を行い、市民の融和を図り、観客の動員等により地域の活性化を図る。		
成果指標名	イベント集客数	式又は説明	市内外から商業振興イベントに参加した総数
	17年度	18年度	
成果指標量	150,000	169,000	
対前年比	-	112.67%	0.00%
到達目標値	180,000 (人)	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	各イベントは、地域に根付く祭りから、市を挙げての祭りまでそれぞれ特徴があり、市民融和、観客動員による地域の活性化を図っており、妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	各イベントとも、観客動員を図りながら、コスト削減に努めている。今後も更なる経費節減を図りながら効率の良い事業実施を目指す。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> A 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	各イベントとも、相当の観客動員があり、有効な事業である。今後も観客動員を図る為、各種媒体を通じてPR等に努める。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明	各種イベントを実行する各実行委員会を支援しながら、効率の良い事業実施を目指している。	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了			
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	169,000 (人)	結果指標量	180,000 (人)
	成果指標量			

総合評価	花火大会等地域活性化につながるイベントの実施、支援をすることにより、市民融和及び観客の動員を図っているが、今後コスト削減を行っていく中で、新市のイベントのあり方自体についても検討すべきである。	評価区分 <A~E> B
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	補助金の見直し	随時	経費節減
有効性	事業の実施方法の見直し	随時	より有効な事業の実施